

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870900150
法人名	医療法人 康仁会
事業所名	グループホーム さわらび
所在地	愛媛県四国中央市三島金子2-2079-8
自己評価作成日	平成21年 7月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成21年 7月 9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

病院の敷地内にあるグループホームで、入居者が体調不良時には、365日、24時間対応でき、月・水・日・週3回母体病院のリハビリに参加している。

四国中央市で1番最初に開設したグループホームであり、その経験を活かしたケアに努めており、本人・家族の意見を主体としたケアプランを作成し、本人の役割を持ってもらい、生き生きとした活気のある生活を援助出来る様に、職員一同、日々精進しています。

◇母体の病院が総合病院であり、同一敷地内に隣接している為、24時間体制でのサポートが可能であり、健康管理に関して不安がない。

◇身体機能の維持管理について、専門的なりハビリが受けられる。

◇開設して10年という運営経験があり、安定した生活支援が可能である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム さわらび

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名 _____

評価完了日

年 月 日 _____

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価)</p> <p>①安心・安全で健康的な生活をお手伝いします。 ②家庭的な明るい雰囲気の中での生活をお手伝いします。 ③暖かみのある希望に沿った生活をお手伝いします。 パンフレット等で、地域密着を記載している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>理念のなかで、だれかがどこかで辛い思いをしていないか、日々の生活の中で気づきを忘れないことを意識している。職員が理念を共有し、地域に開かれた「安全・安心」「明るく」「暖かみのある」生活を送れるよう笑顔で支援している。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価)</p> <p>ホーム新聞を地域の方に配布している。 運営推進会議時に地域の自治会長・民生委員に参加して頂き、地域生活のアドバイスを頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>母体である総合病院の敷地内にあるため、地域とのつながりは病院が中心となっており、グループホームが独自に地域と交流する機会が多いとは言えない。</p>	母体病院を地域の中のお隣さんの一つとして捉え、グループホームは単独で自治会の中の一員であるということを確認し、地域の活動や行事への積極的な参加を検討されることを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価)</p> <p>ホーム新聞に、入居者の日常の生活の様子などを書き、地域の方々に理解して頂いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 地域の方の意見や提案で、サービス向上・地域密着を行うことができている。今後も参加者の意見・提案を積極的に取り入れたい。	
			(外部評価) 自治会長、民生委員、地域包括支援センター、利用者、利用者家族というメンバーの打ち解けた関係作りができおり、意見が出やすくなっている。ヒヤリ・ハット報告を中心とし、また毎回テーマを決めて開催している。	参加者の状況や話し合いの内容を記録して、更なるサービス向上を検討するための有用な資料とされることを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議に市の職員が参加している。推進会議時に必ず、ホーム内でのひやり・はっと等の事故の報告を行っている。	
			(外部評価) 日頃から、利用者の生活状況を理解してもらえよう密に連絡を取っている。月1回のふれあい相談員の訪問時には、実際に利用者の様子を知っていただき積極的に意見交換もしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 入居者の安全を優先に玄関に、施錠を行っている。入居者の家族に承諾を頂き、入居者がストレスが無い様、訴え時には、職員と外に出掛ける様にしている。	
			(外部評価) 利用者一人ひとりの人権を第一に考え、拘束となるような具体的な行為を十分理解したうえで日々のケアに取り組んでいる。玄関については、建物構造上（2階建て）目の届かないこともあるので、安全上やむを得ず施錠している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 十分とは言えない。 事前調査時に本人・家族の様子には十分観察行う。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 勉強会に参加し、参加した職員が他の職員に勉強会を開き、説明等行っている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 介護保険の改正時など、文章による説明を行い、面会時に質問を受けている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 入居契約時に「苦情受付の窓口」の資料を渡し、説明を行っている。玄関にも表示し、意見・要望等あれば、サービス検討委員会を行っている。 (外部評価) 年1回開催する家族会では、一緒に食事をしながら和やかに交流する事で、意見の出しやすい雰囲気づくりをしている。衣替えの時期にも、個別に職員と話せる時間を取っている。また、必要に応じてサービス検討委員会を設ける仕組みをつくっている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に1回職員会議を行っており、全職員が集まり意見・提案を聞く機会を設けている。 (外部評価) 月1回は定期的に全員参加の職員会を開催し、利用者の様子や運営について活発に意見交換を行っている。管理者も職員と同じ勤務体制をとっており、常に話しやすい関係づくりができています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 管理者は、半年に1度他の職員を評価し、代表者に伝える。管理者は、職員の意見等聞き、必要であれば代表者に相談等行っている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 勉強会に参加した職員が、スタッフ会等で他の職員に伝えている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 同系列のグループホーム・ケアハウスとの交流が多く、推進会議にも参加したり、合同で外出を行っている。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入所初日に、本人から話を聞き、不安に思っている事や、要望など聞き、ケアプランに取り入れ、本人が安心して生活できる様に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居の契約時に家族に入居にあたって、不安に思っている事や、要求を聞き、ケアプランに取り入れ、家族が安心して入居者が、生活できる様に努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居時に、本人・家族と話し、必要に応じた対応を行う。受診・リハビリ等	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 入居者一人一人に役割を持ってもらい、職員と一緒に協力し生活を行っている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族面会時に、会話のスペースを提供したり、季節の衣替えなど、本人と家族一緒に行ってもらったり、外泊・外出の援助を行っている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 外泊・外出援助を行ったり、本人が訴えがある時に家族や知人に電話援助等行っている。 (外部評価) 利用開始時には、過去の生活環境や状況を把握する努力をしている。また、どのような仕事をされてきたか、得意な事や嗜好についても聞くように配慮がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入居者の人間関係等、観察行いリビングの席を決めている。食事・ティータイム・レクレーション時には、声掛け行い、楽しく過ごせる様、努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 他の施設・病院に移られる時は、介護サマリ等作成し、グループホームでの様子を伝えている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の意向を聞き入れ、役割等に活かしている。ケアプラン作成時に本人・家族の意見を聞き定期的に意向をケアに取り入れている。 (外部評価) 日々の生活の中で寄り添って話を聴き、本人の意向を把握して、できること・やれる喜びを大事にしながら、生活支援につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時に、本人・家族に以前本人の趣味・得意な事・職業等を聞き、役割等に活かしている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) リハビリ・レクレーション等に積極的に参加の声掛け援助を行っている。 本人が出来る事をカンファレンス等で話し合い、職員で統一したケアに努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケアプラン作成時は、本人・家族の意向を取り入れ、本人主体のプラン作成に努めている。 プラン作成時、ホーム職員の意見以外、母体病院のリハビリ職員の意見等も参考にしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>生活援助計画については、日常の様子とリハビリ医からの情報を基に担当職員が作成した素案を全員参加の職員会で検討し、家族の意見も盛り込んで仕上げていく。</p>	<p>職員は日常を共に過ごすことで利用者の状況を把握しているが、さらに生活援助計画の一つひとつについての評価を日誌等から確認できるような記録がなされることを期待したい。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の記録の中で、本人が訴えた事を記録し、出勤していない職員にも、記録以外にも、申し送り等で連絡し、職員同士情報を共有している。 重要な事は、職員の連絡ノートでも共有している。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者の希望や職員の提案で、季節に合った外出をおこなったり、生活に季節感を取り入れたメリハリ感も大切にしている。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市などが主催する、音楽会に参加 病院と混合で、非難訓練等行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>母体病院の受診の他、本人・家族が希望された場合、 他の病院の受診も、行っている。他の病院を受診させ る場合は、家族の協力して頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>母体である病院に内科、心療内科、整形外科等があ り、ほとんどの利用者が納得してかかりつけ医として いる。眼科や一部かかりつけ医受診が必要な方につい ては、家族の協力を得ながら同伴し、日常の様子など を医師に伝えて適切な支援をしている。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価)</p> <p>母体病院の医療連携、看護師との連携を行っている。 夜間等、入居者の体調変化あれば、担当看護師に連絡 行い、病院と連携を取っている。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価)</p> <p>母体病院に入院の際は、医師・看護師と連携を取り情 報交換を行っている。 他の病院入院時、家族・病院に連絡を定期的に行っ ている。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>看取りの説明は、入居時に説明を行っている。 看取り開始時には、医師・看護師に充分に説明を受 け、職員は、情報を共有しケアに努める。 定期的に家族・医師に今後の方針の相談を行う。</p> <p>(外部評価)</p> <p>看取りに関する指針を作成し、契約時には医師を交え て家族に詳しく説明している。病院が敷地内にあるの で24時間のサポートが可能であり、看護師の派遣も 検討している。</p>	<p>医療面での病院のサポートに頼りすぎることなく、グ ループホームが終末期をむかえた利用者を支えると同 時に、周りの利用者の気持ち、家族の気持ち、職員の 気持ちを大切にしながら今後の方針についてチームで 話し合うことが望ましい。</p>

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 定期的には、行っていない。 病院の敷地内のホームの為、急変時には、すぐに病院に連絡を取り対応している。 今後、スタッフ会等で、積極的に訓練を行いたい。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年1回、病院と混合で避難訓練を行っている。 災害時にすぐに持って行ける災害用バックも完備している。その他、定期的にホーム職員で防火訓練も行っている。 (外部評価) 消防署の指導により、病院と合同で災害時の避難訓練を実施し実践的な取り組みができています。非常時には防災バックとカルテを持ち出す事になっている。今年度中にスプリンクラーを設置する予定である。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 職員、入社時に誓約書にサインをし、プライバシーを守る事を、徹底している。 入居者家族にも、入居契約時に個人情報同意書にサインをもらっている。 (外部評価) 一人ひとりの尊厳を傷つけないよう、本人の気持ちを大切に考えて言葉かけには特に注意を払っている。居室や浴室、トイレなどプライベートゾーンでのさりげないケアを大切にしている。書類などの記載においても全職員がプライバシー確保に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) ケアプラン作成時に、本人の意向を聞きプラン作成している。 声掛けの工夫や、表情の変化等にも、注意している。 変化等に気付けば、申し送り等で、共有している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入居者が喫煙を希望すれば、喫煙場所まで、一緒に行ったり、買い物希望すれば、外のスーパーや同敷地内病院の売店に買い物に行ったりしている。 夜勤時職員1人時には、行えていない。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 本人に声掛けし、希望者に化粧をしたり、ネイルを行っている。 買い物の時は、服の購入は、本人の好みの物を購入している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 基本、昼、夜は病院の厨房から食事を貰っているも、盛り付け、お膳の準備は、ホームで行っている。 入居者の希望や誕生日などのイベント時は、入居者から食べたい物を聞き、職員・入居者で作っている。 (外部評価) おかずは、調理済の物を病院の調理場から取り寄せて、職員が利用者と共に過ごす時間を大切にしている。また、盛り付けや配膳も一緒にしている。朝食とイベント時の料理については、利用者の好みなどを踏まえてホームで作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養バランス等は、病院の栄養士に相談し、その人に合った物を出してもらっている。 その他、本人食べれない物は、事前に聞き楽しく食事を出来る様に努めている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後の口腔ケアの声掛けを行っており、自力で行えない方には、介助を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 自力でトイレに行けない方は、本人の訴えや、その他定期的に声掛けを行いトイレ誘導を行っている。できるだけ、トイレでの排尿を行ってもらう様、リハビリパンツ使用してもらっている。	
			(外部評価) 家族が準備したリハビリパンツを利用しているが、ほとんどの利用者が自立しており、個人の自尊心に配慮しながら基本的にはトイレで排泄できるよう支援している。	排泄の状態を個別に記録することで、排泄パターンを把握し、必要時の誘導や水分摂取、健康状況を把握するためのつながりとされることを期待したい。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 便秘対策として、水分補給・食事の調節を行っている。それでも、便秘が続く様であれば、医師に相談し調整剤等で調整している。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 基本、夜勤時以外、入浴は自由 本人の希望に沿う介助・援助を行っている。	
			(外部評価) ホームが決めた時間帯に合わせるのではなく、日中であれば本人の意向にそった時間に入浴できるよう工夫している。ちょっとした介助があれば自分で入れる利用者がほとんどで、心情に配慮し気持ちよく入浴していただいている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 自由に居室に帰ってもらい、休みたい時に休んでもらっている。 定期的に、様子を見に行ったり、ティータイム・レクリエーションの声掛けを行ったりしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 受診で薬の変更・追加時には、職員連絡ノートや、受診記録に記入している。 その他、薬が変わると、本人の様子をカルテに詳しく記入するように、なっている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 入居の際に、本人・家族に趣味・特技・以前の職業など聞き、役割等本人に相談しながら、決めている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 定期的に、外出を行っている。 季節に合った花見や、外食等も行っている。同系列のケアハウスの入居者との買い物、その他、家族と一緒に墓参り等行かれている。 (外部評価) 周辺には商店や公園がないため日常的な外出は、母体病院の売店に買い物に行くことやりハビリのための通院となっている。 一人ひとりの希望に合わせた、車でのスーパーへの買い物や、季節ごとの花見や外食が利用者の楽しみになっている。	近隣を散歩し、風を感じたり、庭先の花や木を眺めるなど僅かな時間でも戸外に出る機会をできるだけ設けて、暮らしの中で本人の思いにより添った外出支援を期待したい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人のレベルに合わせ、金銭を所有されている人もいる。定期的に近くのスーパーに買い物に行き、会計を自分で、行っている方もいる。預かり金は、その人に応じ家族と相談を行い預かっている。その際、預かり書も発行している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望があれば、ホームの電話を貸し、電話をしている。手紙は、代筆を行い他県に暮らす家族に送る事あり。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>玄関には、入居者が安らげる様に、花を栽培している。 居間には、畳のスペースもあり、冬にはコタツを出したり、夏には、窓にすだれを立て季節感出している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>2階にソファのあるスペースがあるが、あまり利用されていない。台所からの見通しの悪さなど、構造的に難しい点はあるが、利用者が集まって過ごす事が多いリビングを居心地のよいよりくつろげる居場所にしたと考えている。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>廊下に椅子を置き安らげるスペースを確保している。 居間には、スペース的な問題がありスペース確保は、難しい。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>入居契約時に、荷物説明の時には、説明し本人の馴染みの物を持って来てもらうように説明をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>十分な広さがあり、ベッドは希望にそって自由に配置されており、また本人が大事にしている馴染みの物も持ち込んでいる。各居室がその人の好みに合った居心地のよい空間となっている。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>トイレ・風呂・廊下に手すりが付いている。最近では、居間に手すりを付けるなど、入居者が自分の力で、安全に歩行、使用できる様に、工夫している。</p>	